

アニマルセラピー

四阿葉々子 100713



アニマルセラピーとは何か。。。？

- **アニマルセラピー**とは、**動物**を使った**セラピー**手法のこと、日本での**英語**である。
- 医療従事者が**治療**の補助として用いる**動物介在療法**と、動物とのふれあいを通じた**生活の質**の向上を目的とする**動物介在活動**に分類される。
- アニマルセラピーの利点として、**生理的利点・心理的利点・社会的利点**の3点が挙げられる。

広い意味でのアニマルセラピー

- 動物とのかかわりが人間の健康の質を向上させる場合、全てをそう呼ぶことができる。

例えば。。。。。

「一人っ子の家で動物をかかって責任感や共感を学ぶ。」
 「病院に熱帯魚の水槽があって穏やかな気持ちになる。」
 「バードウォッチングをしてすがすがしい気持ちになる。」

歴史は。。。？

- 歴史とはいつても、いろいろな種類の動物がいるうえに時代により動物と人間の付き合い方は極端に変化していたり、文化によってさまざまな付き合い方があるので、人と動物の関係を歴史的な観点から見るとはとても複雑。。

↓

18世紀にフランスの哲学者デカルト
 ○「言語をもった理性のある人間と違い動物は紙で作った自動機械である。だから動物が悲鳴を上げてても、それは蝶番が音を立てるのと同じであり、それ以上のものではない」


②歴史は。。。？

- 割愛して、人間の健康に「生きた動物が「意識的」にも生活をしてきた歴史を見てみると。。。

↓

- もっとも長い歴史を持つのは意外にも乗馬療法！！
- 盲導犬の発祥は紀元前100年にさかのぼり、当時の盲目のドイツ王が盲導犬を所有していたことが古文書に記されている。
- 盲導犬訓練が組織化されたのは1916年のドイツで、第一次世界大戦で失明した多くの軍人のために試みられた。

世界的に認められた乗馬療法




- もっとも長い歴史を持つ乗馬療法だが、近世になってから1875年にパリで乗馬がマセを伴う神経障害にきわめて有効な治療法であるという報告がなされ、それ以来治療のひとつとして意識的に用いられ、現在では乗馬療法に関してはひとつの完璧なシステムとなり、NARHA(北米障害者乗馬協会)をはじめイギリス、ドイツ、オーストラリアなど世界各国で積極的に、おもに身体的なリハビリを中心として治療にいわれている。
- 日本でも日本障害者乗馬教会、日本乗馬療法協会などが積極的に活動を行っている。

どのような効果があるのか。。。？

- **生理的利点**
 1. 病気の回復、適応、病気との闘い。
 2. リラックス、血圧コントロール値の低下
 3. 神経筋肉組織のリハビリ(とくに乗馬療法)
- **心理的利点**
 1. 元気づけ、動機、活動性の増加、感覚刺激、
 2. 感情表出(言語的、非言語的)
 3. 回想作用
 4. 教育的効果

今後調べていきたいこと。



- どうして動物にセラピー効果があるのか。
- 動物を変えた偉人達。
- 逆に、動物が人間に過剰にもとめられることによってどういったストレスを感じてしまっのか。
- 日本でのアニマルセラピーと海外のアニマルセラピーの違い。(ペットに対しての国単位での認識の違いは？)